

## 第 87 回定時株主総会 事前質問へのご回答

第 87 回定時株主総会の開催にあたり、株主様より事前に頂きましたご質問につきまして、以下の通りご回答申し上げます。

**Q1. 当社の主要取引先である日産は、2026 年度見通しで売上高・営業利益ともに増加を見込んでいる。一方で、当社は 2026 年度に大幅な減収と減益を計画されているが、その理由を知りたい。**

A1. 2026 年度の売上高見通しについてご説明いたします。

2025 年度は、型設備売上が業績に大きく貢献しましたが、2026 年度は、大幅な減少を見込んでおります。

また、タイ拠点撤退や中国精密事業会社売却の影響に加え、為替前提を 1 ドル 145 円と保守的に設定しております。

さらに得意先の生産台数計画を慎重に見込んでいることから、売上高が減収を計画しております。

営業利益については、合理化の取り組みや減価償却費の改善による増加要因はあるものの、操業度や車種構成の変化による減少が大きく、全体として減益となる見通しです。今年度合理化の取り組みを更に強化し、減益幅ができるだけ小さくする努力を継続してまいります。

こうした減益要因はあるものの、今後さらに合理化活動を強化し、昨年度と同等以上の収益を目指して取り組んでまいります。

**Q2. 「2026-2028 年度中期経営方針」に掲げている株主還元方針では、DOE 目標 3%を目指すとしているが、いつ頃実現するのか。**

A2. 当社は株主還元の重要性は十分に認識しており、DOE についても、ここ数年着実に改善しており、2025 年度は 2%を達成し、2026 年度は 70 円の配当を計画しております。仮に、2026 年 3 月末の前提で計算すると、70 円配当の場合 DOE 2.4%に相当します。

具体的な時期については明言できませんが、早期に DOE3%を達成すべく、引き続き株主還元の強化に努めてまいります。